



生活と環境

生活環境課：0869-22-1899
リサイクルプラザ・ふく：0869-22-3707
開館日 月・水・金・土
開館時間 9:00~16:00

野外焼却はやめましょう

ごみを家庭で燃やして処理することは、一部の例外を除き法律で禁止されています。

物を燃やすと、二酸化炭素や有害なダイオキシン類などを発生させる可能性があるほか、燃やしたときに出る臭いや煙が布団や洗濯物についたり、吸い込んで気分が悪くなってしまう人が出てくるなど、周囲に迷惑をかける場合もあります。また、風のある日に野外で物を燃やすと、火の粉が燃え移り、火災の原因となる危険性があります。

を得ないものとして行われる稲わらや海産物などの廃棄物の焼却
「どんど焼き」など風俗慣習上必要な廃棄物の焼却
・軽微なたき火
ただし、例外的に認められている野外焼却を行う場合でも、周囲の環境や天候、時間帯などに十分注意して安易に行わず、できるだけ市のごみ収集や資源回収を利用しましょう。

皆さんは買い物どきにマイバッグを持参していますか。毎月10日は「岡山県統一ノーレジ袋デー」です。スーパーやコンビニで当たり前のようにもらっているレジ袋は、1人あたり年間約300枚も使用していると言われ、そのほとんどがごみとして捨てられています。ノーレジ袋デーをきっかけに、マイバッグや風呂敷を使い、自分でできるちよっとしたエコを始めてみませんか。例えば、レジ袋も何度も使えば立派なマイバッグです。買い物袋として繰り返し使い、家庭から出るごみを少しでも削減しましょう。



また、包装が少ない商品や詰め替えができる商品を選ぶなど、毎日の買い物からエコの意識を高めることも大切です。皆さん一人一人の理解と協力をお願いします。

ごみ減量速報

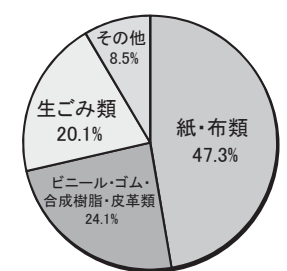
単位：グラム

地域	23年2~4月	22年2~4月	達成度
牛窓	676	731	◎
邑久	762	789	○
長船	603	621	○

※数値は、1人1日あたりのごみ排出量の3カ月平均値です。
※達成度は、減量率5%以上を◎、0~5%を○、減量できなかった場合を×で表しています。

あなたが主役！ごみダイエット瀬戸内

右の円グラフは、本市における可燃ごみの内訳です。「紙・布類」が半分近くを占めています。そのほとんどは「ざつ紙」としてリサイクルすることができます。



「ざつ紙」とは、ダンボール、新聞紙、雑誌、牛乳パック以外の資源化できる紙類のことです。はがき、お菓子などの紙箱、紙袋、ノートなど皆さんの身の回りには「ざつ紙」に分類されます。ごみを減量するためには、「ざつ紙」を資源化することが大切です。

一杯になったら飛散しないようにひもやガムテープ等で止めてください。紙袋やダンボールごと資源化できます。地域の資源ごみ回収やごみ収集日程表に掲載している古紙回収場所へ出してください。皆さんもぜひ「ざつ紙」回収・資源化にご協力ください。

「ざつ紙」を資源化するには、紙袋やダンボールの箱に「ざつ紙」を集

安全通信

問 瀬戸内警察署：0869-34-6110
消防本部警防課：0869-22-1492
予防課：0869-22-1493

ガソリンや軽油などの危険物は十分に注意して取り扱しましょう

石油類をはじめとする危険物は、事業所などで幅広く利用され、市民生活においてもなくてはならないものです。気温が高くなると、危険物の自然発火による火災が発生する可能性があるため、危険物の安全な管理は災害の防止のために重要なことです。

消防法で定められているもので、一般的には次のような危険性を持った物品を危険物といい、身近なものでは、ガソリン、軽油、灯油、油性塗料などがあります。

- ① 火災発生の危険性が大きい
- ② 火災拡大の危険性が大きい
- ③ 消火の困難性が高い



ガソリンや軽油について

▽高い揮発性
ガソリンは揮発性が極めて高く、気温がマイナス40℃でも気化します。

小さな火源でも引火し、火災が発生すると爆発的に燃焼する物質です。

▽決められた容器で保管を
ガソリンや軽油を入れる容器は、消防法により一定の強度のある材質を使用することが定められており、容量も制限されています。

特に灯油用ポリ容器にガソリンを入れることは非常に危険ですので、絶対に行わないでください。

▽保管は必要最小限に
ガソリンを容器に入れて保管することは極力控えてください。

ガソリンや軽油は、必要最小限の量を、不燃材料で仕切られ直射日光の当たらない場所に保管してください。

■問い合わせ先
消防本部予防課

警察安全情報

梅雨時期の交通事故防止

梅雨時期は雨が降ることが多く、路面が滑りやすい状態になります。雨が降っている日は、より一層慎重な運転を心掛けるようにしましょう。

梅雨時期は雨が降ることが多く、路面が滑りやすくなり、制動距離が長くなります。車両を運転する前には、タイヤ、ワイパーゴム、ライトなどの点検を行い、必要があれば取り替えましょう。

【車両を運転する皆さんへ】
・運転前の車両点検を
すり減ったタイヤは、雨で滑りやすくなり、制動距離が長くなります。

【自転車や歩行者の皆さんへ】
・傘差し運転はダメ
自転車や歩行者の皆さんは、傘差し運転は危険です。

・シートベルトは確実に
交通事故死者のうち、シートベルトを着用していれば助かったと考えられるケースも非常に多くなっています。

また、雨の激しいときには、自転車の利用を控えて、公共交通機関などを利用するようにしましょう。

・目立つ服装を
夕方や夜間の外出はもちろんのこと、雨や曇りの日もなるべく目立つ服装や夜行タスキなどの反射材を身につけましょう。

■問い合わせ先
瀬戸内警察署